

平成24年度事業報告書  
 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

特定非営利活動法人  
 居宅介護支援事業所ウオー

1 事業の成果

- ・ 自宅訪問(介護状況把握) 2件
- ・ 胃瘻手術後の看護と介護 電話相談 受付 5回
- ・ 研修会参加 在宅緩和ケア講演会 2名参加

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
特定非営利活動法人 居宅介護支援事業所 ウオー	居宅介護支援	5月 2回 11月 4回 12月 1回	福岡市竹原 西条町等	1名 ? ?	2名	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(円)

注1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。

2 2の(1)については事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載してください。

3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載してください。

4 2の(2)については事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載し、該当する事業を行わなかった場合は記載する必要はありません。

5 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
i 流動資産		
現金預金		
現金	現金手許有高	20,000
普通預金	銀行 支店	
未収入金		
未収会費	24年度会費 10名分	0
流動資産合計		20,000
2 固定資産		
土地	平米	0
建物	平米	0
什器備品		0
パソコン		
固定資産合計		0
資産合計		20,000
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	銀行 支店	0
預り金	職員に対する源泉 所得税	0
未払金	職員給与 月分	0
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	銀行 支店	0
退職給与引当金		0
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		20,000

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。  
 注2 [ ]の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別の用紙で作成してください。

平成24年度 425年 3月31日現在 住宅介護支援 会計 貸借対照表

特定非営利活動法人 住宅介護支援事業 白下

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	20,000		
未収入金	0		
流動資産合計		20,000	
2 固定資産			
土地	0		
建物	0		
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			20,000
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
預り金	0		
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	88,000		
当期正味財産増加額(減少額)		20,000	
正味財産合計			108,000
負債及び正味財産合計			108,000

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 [ ]の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

平成 24 年度 居宅介護支援 会計 収支計算書

H 24 年 4 月 1 日 から H25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 居宅介護支援 事業所

科目・摘要	金額	
I 収入の部		
1 入会金・会費収入		
入会金		
会費	20,000	
2 財産運用収入		
.....		
3 事業収入		
事業収入	0	
.....		
4 寄付金収入		
5 その他の事業会計からの繰り入れ	60,000	
6 .....		
当期収入合計(A)		80,000
前期繰越収支差額		-223,170
収入合計(B)		-143,170
II 支出の部		
1 事業費		
事業費	0	
.....		
2 管理費		
・給料手当	0	
・交通費	0	
・通信費	0	
・消耗品費	0	
・水道光熱費	2,000×11	
家賃	5,000×11	
3 登記料 役員変更 4件	64,000.-	
..... 解散	30,000.-	
4 予備費		
当期支出合計(C)		171,000
当期収支差額(A) - (C)		-91,000
次期繰越収支差額(B) - (C)		-314,170

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4でお願いします。

注2 の部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉で作成してください。

注3 その他の事業を行う場合は、その他の事業会計収支計算書及び特定非営利活動に係る事業会計収支計算書について、その他の事業会計から特定非営利活動に係る事業会計への繰出繰入が明らかになるような科目を追加し、経理する必要があります。